



無垢板のテーブル、樹種はセンダンという、けやきにも似た美しい木目とオレンジ色がかった色合いの木です。西洋家具の高級材としても知られるマホガニーもセンダン科に属する樹木です。

私が無垢の板でテーブルを作る際は通常、木材市場に出かけて実際に板を見て選びます。材質が同じでも一枚一枚色目や木目の表情が違うからです。

テーブルの材が決まればサイズと形状をご相談、今回は二枚の板を剥ぎ合わせ、剥ぎ目に「ちぎり」という蝶ネクタイの形をした、板どおしを繋ぎ止める部材を埋め込むことにしました。その他、椅子を片側3脚ずつ引き込めるように脚の形状と間隔を考慮、さらに脚を倒して天板をのせれば、座卓として床座でも使えるようにデザインするなど、細かいご要望も取り入れて作りました。写真上はオイル仕上げ前の天板。通常オイルは無公害の成分ではっ水性もある蜜蠟入りのオイルを使用しています。手入れも普段は水拭きでOK、時々ご自分で簡単にオイルを上塗りすると飴色のツヤがでて、使い込むうちに味が出てきます。

Chinaberry plank wood table. 3 bow tie shape points are inlaid wood (material: wenge) to keep 2 boards joined. The pair legs are designed in T-shape to transform into low table(H=350mm) legs. Natural oil with beeswax finished.

Sendan Table W2200xD1100xH710

2008nt